

## 2024（令和6）年度 高等教育研究部 活動報告

### 1. 国際大学間連携に基づくセミナー・シンポジウムの参画

#### (1) ソウル大学とのジョイントシンポジウムに参画

- ・分科会実施経費申請→採択
- ・2024.11.27 レセプション出席
- ・2024.11.28 分科会の開催

#### (2) メルボルン大学とのワークショップ実施の立案・予算申請

- ・実施の決定及び申請書の提出

### 2. 内部質保証システムの構築と支えるデータ基盤の開発（総合 IR 本部、質保証推進本部等との連携）

#### (1) 教育情報の分析・活用方法の検討

##### ① 総合 IR 本部 教学部門長として部局への情報提供と懇談

- ・8月-10月にかけて14部局（経済学部、法学部、文学部、工学部、教育学部、水産学部、農学部、理学部、歯学部、薬学部、医学部、獣医学部、国際広報メディア・観光学院、生命科学院）の担当者と面談・情報提供
- ・獣医学部卒業時アンケートの担当者と面談・情報提供 2024.07.24
- ・医学部医学教育センター担当との面談・情報提供 2024.08.28

##### ② 教育改革室学修成果の可視化検討WG 座長

- ・「学修成果の可視化検討WG」の開催 2024年度8回開催
- ・「学修成果の可視化検討WG 中間まとめ」を作成し、2024.07の教育改革室会議で了承、2024.7の教務委員会にて話題提供、その後、2024.11の教務委員会にて了承。→カリキュラムチェックリストの作成を部局に依頼
- ・教育改革室学修成果の可視化検討WG 勉強会の開催「オープンバッジとマイクロクレディンシャルの現在」2024.10.17
- ・「学修成果の可視化検討WG 最終報告書」を2025.5の教務委員会で報告・了承を得られるように準備 2025.03.26

#### (2) 教育の内部質保証システムの構築

- ① 概算要求プロジェクト「主体的な「学び」へ導くための学生支援体制の充実～包括的な学生支援機能を有する「学生支援機構」の設置～」の申請及び採択

- ・教員採用人事に参画
- ・プッシュ型学生支援検討WGへの参画（研究部からは2名が参画）
- ②上記に付随するプロジェクト「エンロールメント・マネジメントによる包括的學生支援を実現する総合学修支援システムの開発～データ駆動型の学生支援の実現」の申請及び採択
- ・先行事例（大学）調査
  - ・京都光華女子大学、東京大学、東京科学大学、明治大学他
- ・システム業者との打ち合わせ
  - ・2025.03.13に1社、2025.03.14に2社、
- (3)教育の内部質保証を支えるデータ基盤の開発
  - ①新・学務システムの仕様策定
    - ・応札業者決定（SCSK社のDreamCampus）
    - ・学修ポートフォリオ部分の仕様の打ち合わせ 2024.04.08、2024.12.05、2025.01.16
    - ・アンケート機能部分の仕様の打ち合わせ 2024.11.19
- (4)教育評価
  - ①全学教育科目における授業評価アンケートの分析、報告書の作成
    - ・全学教育科目授業評価アンケート報告書作成
  - 自由記述の分析を新たに実施

## 2. 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

### (1)インターンシップの充実に向けた研究と実践

- ①全学インターンシップの実施
  - ・全学教育科目「インターンシップA（国内2024）」「インターンシップB（国内2024）」
  - ・大学院共通科目「国内インターンシップA（2024）」「国内インターンシップB（2024）」
- ②全学インターンシップ履修説明会：オンライン（2024.05.14）
- ③学生と企業等のマッチング：派遣学生90名
- ④インターンシッププレ研修の実施：オンライン（2024.04.19、2024.04.22～25、2024.05.08、2024.05.17、2024.05.21、2024.05.27、2024.06.21～22、2024.07.25）

- ⑤事前研修：対面で実施（2024.07.10～）
- ⑥派遣学生事前個人面談（1人約15分）：オンライン（2024.07.22～07.29）
- ⑦派遣学生事後個人面談（1人約15分）：オンラインで実施（2024.10.24～11.07）
- ⑧インターンシップ成果発表共有会：オンラインで実施（2024.10.23）
- ⑨終了後のアンケート調査結果：将来のキャリア設計に「大いに役立つ」61%、  
「役立つ」が39%

(2)経済同友会と連携した低学年長期インターンシップの研究と実践

- ①2016年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを(1)の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しており、2024年度は、東日本旅客鉄道、ユー・エム・アイ、ADEKA、キッツ、シグマクシス、みずほ証券、双日、テーブルマーク、小松製作所各1名の計9社、9名の学生（1年生1名、2年生8名）を派遣。また、2024年度より修士課程の院生に対するインターンシップも実施し、日本航空2名、東日本旅客鉄道、ADEKA各1名の計3社、4名（すべて修士1年）を派遣
- ②5月参加希望学生の募集（学部1～2年生15名、修士院生5名の応募）
- ③事前研修、個人面談は（1）と合同で実施
- ④成果報告会を開催（派遣学生、企業、次年度派遣希望学生等の参加）  
（2024.11.14）

(3)キャリア教育科目（キャリアデザイン、大学と社会）の充実

- ①特別講義「大学と社会」の実施  
・本学の卒業生11名による講義を実施

(4)キャリア教育、キャリア支援のあり方についての検討

- ①先端人材育成センターと共同で各部局のキャリア教育・支援の実態調査の実施
- ②「キャリア支援シンポジウム～学部から博士まで多様なキャリアパスを目指して～」の開催（対面・オンライン合わせて304名の参加）（2025.03.04）
- ③留学生の就職後の状況に関する企業聞き取り調査の実施（計7社）

(5)初年次を対象としたキャリア教育科目の実施など

- ①2023年度から開講した学部新生の必修科目である「北大での学び」において「将来を見据える」「先輩とつながる」を担当
- ②2024年度から開講した大学院新生を対象とした「北大大学院での学び」において「キャリアパス」を担当

(6)就職支援における基礎データの分析とキャリア・就職支援のあり方の検討

- ①キャリアセンター長として部局との意見交換の実施

- ②各部局のキャリア支援・就職担当教職員を対象とした「キャリア支援・就職担当教職員との情報交換会連絡会」を実施（2024.06.06）

### 3. 入試改革と高大連携

#### (1) フロンティア入試（Type I）の開発・拡充

- ①フロンティア人材評価システムの開発・運用・改修
- ②フロンティア入試 Type I コンピテンシー評価の実施（各部局に審査結果を提供）
- ③MMI に基づく面接試験開発支援・面接データ分析（獣医・後期）
- ④追跡調査（年次アンケート調査の実施、分析、報告書作成）
- ⑤水産学部と医学部医学科へのインタビュー調査、中間報告書作成

#### (2) 入試広報

- ①入試広報戦略の策定・推進（アドミッション本部入試広報・相談部門会議）
- ②北海道大学入試説明会（オンライン：2024.07.24）
- ③オープンキャンパス（2024.08.04～08.05）
- ④北大進学相談会（2024.10.06、2024.10.14）
- ⑤リフレクション訪問 ※重点校を中心にヒアリングや意見交換
- ⑥道教委主催 医進類型指定校等連絡協議会  
（オンライン：2024.06.05）
- ⑦東北七県新聞社主催 大学進学説明会（仙台：2024.07.21）
- ⑧大学情報センター主催 主要大学説明会
  - ・名古屋（2024.07.21）
  - ・大阪（2024.09.07）
  - ・横浜（2024.08.17）
  - ・札幌（2024.07.28）
  - ・広島（2024.09.01）
- ⑨高校進学説明会・相談会
  - ・蕪山高校（オンライン：2024.06.12）
  - ・九州国際高校（オンライン：2024.07.11）
  - ・芝学園高校（来訪：2024.08.04）
  - ・札幌南高校 進路指導担当者（来訪：2024.08.20）
  - ・札幌北高校 進路指導担当者（来訪：2024.08.20）
  - ・釧路湖陵高校（訪問：2024.08.30）
  - ・苫小牧東高校 PTA 対象（来訪：2024.09.03）
  - ・岩見沢西高校（オンライン：2024.09.10）

- ・札幌東高校 PTA 対象（来訪：2024.10.04）
- ・滝川高校（訪問：2024.10.23）
- ・小松川高校（オンライン：2024.12.16）
- ⑩河合塾主催 北大説明会（2024.11.06）
- ⑪重点高校等へのフロンティア入試 Type I に係る説明・資料配布
  - ・札幌第一高校（2024.06.19）
  - ・札幌光星高校（2024.06.21）
  - ・北海高校（2024.06.20）
  - ・釧路江南高校（2024.08.29）
  - ・帯広柏葉高校（2024.07.18）
- (3)高大連携（高大連携授業聴講型公開講座の実施）
  - ①高校訪問
    - ・札幌北高校（2024.07.01）
    - ・市立札幌旭丘高校（2024.07.02）
    - ・札幌西高校（2024.07.01）
    - ・札幌南高校（2024.07.01）
    - ・藤女子高校（2024.06.24）
    - ・市立札幌開成中等教育学校（2024.06.27）
  - ②オリエンテーション（2024.09.25、2024.09.27）
  - ③講座開講
    - ・開講期間：2024.10.01～2025.01.31
    - ・参加校：6校（北、藤女子、旭丘、西、南、開成）
    - ・受講者：70名
    - ・開講講座：31授業
  - ⑤受講証明書の発行（68名）
  - ⑥受講生アンケート、授業担当教員へのアンケート
  - ⑦修了式（2025.03.14、2025.03.17）
  - ⑧報告書「高校生の全学教育科目の聴講に関する調査集計結果」の発行
- (4)入試関連のデータ分析
  - ①入試，学業成績，進路の関係の分析
  - ②試験の分析
- (5) アドミッション関連全国協議会等への参画
  - ①全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会（2024.8.22、2024.11.19、2025.02.20）
  - ②国立大学アドミッションセンター連絡会議幹事会（2024.04.22）
- (6)アドミッション専門職協会・アドミッション専門職関連における活動（オフィサー）
  - ①2024年度年次大会・総会（2024.07.25）
  - ②九州大学アドミッションオフィサー養成プログラム（2024.06.01）

- ③大学入試センター共催アドミッションリーダー研修（2024.06.13～14）
- ④2024 年度アドミッション専門職協会・国大協共催研修会（2024.07.30）
- ⑤大学入試センター主催大学入学者選抜における CBT シンポジウム（2024.08.21）
- ⑥東北大学高等教育フォーラム（2024.09.27）
- ⑦大学入試センターシンポジウム（2024.11.09）
- ⑧文部科学省大学入学者選抜改革シンポジウム（2024.12.07）
- ⑨第 10 回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会（2025.03.22）

#### (7)入試の国際化

- ①国際総合入試の実施支援（国際総合入試実施部会）
- ②国際入試に関する調査研究

#### (8)初年次学生支援

- ①ラーニングサポート室の運営に関わる日常管理、方針管理

### 4. 地域社会と連携する大学づくり

#### (1)生涯教育を発展させた大学院レベルのリカレント教育の開発（大学院教育推進機構リカレント教育推進部との連携）

- ①人間知×脳×AI 研究教育センターでのリカレント教育「AI と人間社会」プログラムの開発及び評価への参画

### 5. 情報発信

#### (1)高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・第 32 号：2025 年 3 月末発行
- ・2024 年度教育実践研究セミナーの実施（2024.08.07）

#### (2)ホームページによる情報発信

- ①サイト運用方針の検討
- ②サイトの管理

#### (3)高等教育研究セミナーの開催

- ①第 1 回「大学入試の共通試験改革をめぐるポリティクス」（2024.06.01）
- ②第 2 回「ミネルバ大学を解剖する」（2024.10.20）
- ③第 3 回「急激に変化する社会における高等教育の改革：韓・英における『エンロールメントマネジメント』」（2024.12.14）

## 6. 教員の研究実績

### (1)論文・論説など

- ・ 亀野淳「第三段階教育における産学連携教育の多様性と可能性」『高等教育研究』第 27 巻、87-104 頁、2024 年
- ・ 飯田直弘・細尾萌子・田中光晴・花井渉「英・仏・韓における外国・国際資格の承認と評価—大学入学者選抜・振分け制度における資格承認機関の役割と機能に焦点を当てて—」『大学入試研究ジャーナル』、No. 35、全国大学入学者選抜研究連絡協議会／独立行政法人大学入試センター、2025 年
- ・ 城綾実・門田圭祐・石川奈保子・楊潔・牧野遼作・宗政由桐「共在空間における共に学ぶ価値の相互行為的創出：児童を対象とした科学教室を例に」『認知科学』第 31 巻、第 4 号、609-626 頁、2024 年
- ・ 種村剛・田口茂・千脇美香・石川奈保子・川本思心「AI と人間社会プログラム：北海道大学におけるリカレント教育の試み」『工学教育』、第 73 巻、第 1 号、80-85 頁、2025 年
- ・ 鄭漢模「韓国の大学におけるコンピテンシーに基づいた教育体制の構築」『高等教育ジャーナル』第 32 号、89-98 頁、2025 年
- ・ 田中孝平「生成 AI をめぐる高大接続上の論点—高校教育における生成 AI の利活用の実態から考える—」『第 73 回 東北・北海道地区高等教育研究会収録』16-19 頁、2025 年
- ・ 田中孝平「高大接続における学生の興味・関心の変容プロセス—探究型大学入試を経て入学した学生の語りの分析にもとづいて—」『高等教育ジャーナル』第 32 号、1-10 頁、2025 年、
- ・ 田中孝平・石川奈保子・鄭漢模・江本 理恵・亀野 淳「2024 年度教育実践研究セミナーの実施報告」『高等教育ジャーナル』第 32 号、67-77 頁、2025 年

### (2)学会発表等

- ・ 三保 紀裕・肖蘭・亀野淳「職務の接続性とインターンシップ・実習や就職の関連性に関する実証分析—専門学校生及び大学生に対する調査結果より—」日本インターンシップ学会第 25 回大会、2024.09.15、名古屋東邦大学
- ・ 田川史穂里・亀野淳「キャリアビジョンからみる職業キャリア成熟とキャリア形成支援ニーズ—病院に勤務する臨床中堅看護師へのインタビューの分析を通して—」日本労務学会第 54 回全国大会、2024.06.29、東洋大学

- ・ 田川史穂里・亀野淳「中堅看護師の自律的キャリア形成を促進する看護管理者の関わりと組織に求めるキャリア形成支援ニーズ」第 28 回日本看護管理学会学術集会、2024.08.23、名古屋国際会議場
- ・ Yuko TANAKA・Ayuka YOKOYAMA・Jun KAMENO・Etsuko TADAKA  
“Framework for Evaluating Community Development Competencies of Public Health Nurses in Japan’s Comprehensive Support Centers: A Proposal Based on Expert Review” The 28th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 2025.02.13-02.14, COEX, SEOUL, KOREA
- ・ 飯田直弘「北海道大学の高大接続入試改革—フロンティア入試 Type I を中心として—」第 1 回高等教育研究セミナー、2024.06.02、北海道大学
- ・ Masaaki Yanagida・Sayaka Mitarai・Wataru Hanai・Yusuke Nakajima・Naohiro Iida, “How Does the International Baccalaureate Career-related Programme (IBCP) Work in the USA?: Focusing on the Practice in Minnesota”, 日本比較教育学会第 60 回大会、2024.06.30、名古屋大学
- ・ 飯田直弘「変容するイギリスの高等教育：政策動向と課題」第 3 回高等教育研究セミナー、2024.12.14、北海道大学
- ・ 石川奈保子「子ども向け科学館の役割と教育空間のデザイン」、奥本素子・石川奈保子・森沙耶・池田 貴子・七田麻美子・須永将史・菊地浩平「シンポジウム：社会的課題と共に学ぶコンバージェンス教育」日本科学教育学会第 48 回年会、2024.09.14、函館工業高等専門学校
- ・ Naoko Ishikawa “Future Career Prospects and Time Management Strategies of University Students” The 22nd International Conference for Media in Education (ICoME2024)、2024.08.22、明治大学
- ・ 鄭漢模「韓国の大学における研究費ファンディング—政府による研究費ファンディングのダイナミクス—」、両角亜希子、白川優治、竹中亨、林隆之、鄭漢模、藤垣裕子「日本高等教育学会第 27 回大会課題研究Ⅱ 研究費ファンディングの国際比較」、2024.05.25、鎌倉女子大学
- ・ 鄭漢模「地方国立大学間統合・再編の議論に関する考察—韓国国立 M 大学の事例を中心に—」日本高等教育学会第 27 回大会、2024.05.26、鎌倉女子大学
- ・ 鄭漢模「韓国における大学の外部質保証：質保証に基づいた大学再編」、杉本和弘、林透、森利枝、劉文君、野田文香、鄭漢模「大学の教学マネジメントに資する「関係モデル」の構築・遂行に関する国際比較研究」大学教育学会第 46 回大会、2024.06.08、関西国際大学

- ・ 鄭漢模 「韓国におけるマイクロクレデンシャルの利活用に関する動向と課題」 大学教育学会第 46 回大会、2024.06.09、関西国際大学
- ・ 鄭漢模 「社会経済における教養教育の意味を問うー東アジアの視点ー」 第 2 回アジアリベラル教育会議、2024.09.06、東北大学
- ・ 鄭漢模 「日本の大学における成人学習者向けの教育プログラムの意義と課題ー北海道大学の事例を中心に」 大学成人学習者研究交流協議会 (The Korean Association for Adult Learner in Higher Education) 創立準備月例フォーラム創立準備月例フォーラム、2025.01.07、オンライン
- ・ Hanmo Jeong 「Reshaping Roles and Skills of Educational Practitioners : Rethinking 「教」 for the Future Generation and a Sustainable Society」 The 27th Seoul National University-Hokkaido University Joint Symposium、2024.11.27、ソウル大学 (韓国)
- ・ 奥村百香・田中孝平・山本達也 「清泉女子大学文学部地球市民学科の場合」 松下佳代・奥村百香・田中孝平・山本達也・岡田航平・布柴達男・平山朋子・田中一孝・梅川紗綾・澤邊潤 「汎用的／分野横断的な能力は育成可能かー学士課程カリキュラムの比較を通してー」 大学教育学会第 46 回大会、2024.06.08、関西国際大学
- ・ 田中孝平 「『高等教育への移行』研究の展開」 大学教育学会第 46 回大会、2024.06.09、関西国際大学
- ・ 田中孝平 「生成 AI をめぐる高大接続上の論点ー高校教育における生成 AI の利活用の実態から考えるー」 第 73 回 東北・北海道地区高等教育研究会、2024.09.05、秋田大学
- ・ 田中孝平 「高大接続の視点からみた生成 AI の影響」 大学教育学会 2024 年度課題研究集会、2024.11.17、新潟大学
- ・ 田中孝平 「カリキュラム」 第 2 回高等教育研究セミナーーミネルバ大学を解剖する一、2024.10.20、北海道大学
- ・ 田中孝平 「高校の探究学習を通じた高大接続の論点整理」 大学教育改革フォーラム in 東海 2025、2025.03.08、名古屋大学
- ・ 田中孝平・松井晋作 「大学生アスリートの高校から大学への移行経験ーキャリア意識に関する学生の語りの分析にもとづいてー」 第 31 回大学教育研究フォーラム、2025.03.13、オンライン
- ・ Rie EMOTO “Analysis of the Process by Which University Faculty Members Come to Accept the In Assistant, Faculty Development Support System and

Use it to Reflect on and Improve Their Classes”, The 27th Seoul National University - Hokkaido University Joint Symposium, 2024.11.28, Seoul National University.

- ・ 趙 由之・石川 奈保子・岩間 徳兼・池田 文人「研究者の音楽経験と科学研究との連携に対する認識」日本教育工学会研究会、2024.05.11、秋田大学

### (3)外部資金の獲得

- ・ 株式会社ビズリーチとの共同研究「大学生のキャリア選択における OB/OG 訪問の有効性の調査研究」研究代表者：亀野淳、1,869 千円
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C））、2023 年度～2026 年度、「多様な学習成果・学習歴の評価・認証枠組に基づく大学入学者選抜に関する国際比較研究」、研究代表者：飯田直弘、3600 千円
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（B））、2022 年度～2025 年度、「コンピテンシーの形成・評価の検討—統合性・分野固有性・エージェンシーに着目して—」研究代表者：松下佳代、16,640 千円（分担者：田中孝平）
- ・ 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」、2024 年度～2027 年度、研究責任者：松下佳代（分担者：田中孝平）
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（研究活動スタート支援）、2024 年度～2025 年度、「大学教育における移行概念の再構築と新たな移行支援に関する理論的・実証的検討」、研究代表者：田中孝平、2,860 千円
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（若手研究）、2024 年度～2026 年度、「大規模オンライン公開講座による単位認定・履修証明に関する日韓比較研究」、研究代表者：鄭漢模、2,730 千円
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（B））、2024 年度～2027 年度、「東アジアにおけるリベラルアーツ教育の再構築に向けた国際比較研究」、研究代表者：森利枝、15,470 千円（分担者：鄭漢模）
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C））、2024 年度～2026 年度、「戦後初期の大学・高校と地域の連携構想とその受容—日本・琉球・韓国の異同に着目して—」、研究代表者：日永龍彦、4,550 千円（分担者：鄭漢模）
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（B））大規模言語モデルを用いた教学データの分析と FD・IR での活用、2024 年度～2027

- 年度、研究代表者：松河秀哉、18,460 千円（分担者：江本理恵）
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（B））大規模大学における教育 DX 推進によるパフォーマンス・ガバナンスに関する国際比較研究、2024 年度～2026 年度、研究代表者：杉本和弘、16,250 千円（分担者：江本理恵）
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C））、2024 年度～2026 年度、「ピア評価と自己評価の教育活動への活用に関する研究」、研究代表者：岩間徳兼、2080 千円

#### (4) 研究員

- ・ アントワープ大学教育科学部客員研究員（2025.01～2025.03）

## 7. 教員の社会貢献活動

### (1) 招待講演など

- ・ 大阪府教育センター附属高等学校 2024 年度第 1 回 校内研修「探究学習を深める対話型論証について」、講師、2024.05.01
- ・ 北海道札幌啓成高等学校 特別授業「総合的な探究の時間（Future Vision）」特別講演「探究を深める『対話型論証』」、講師、2024.06.20
- ・ 福島県立安積高等学校、令和 6 年度進路・SSH 文化講演会「対話型論証について学ぼう」講師、2024.07.01
- ・ 第 9 回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会（主催：九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター）「北海道大学におけるフロンティア入試の開発・導入とこれまでの経過」、講師、2024.07.21
- ・ 西武文理学園高等学校文化祭企画「高大接続からみる探究的な学び」、講師、2024.09.07
- ・ 滋賀県立虎姫高等学校「究理Ⅱ」講演会、講師、2024.09.13
- ・ 市立札幌旭丘高等学校令和 6 年度学問研究会「日本とイギリスの大学入試一比較をつうじて特徴と課題について考える」、講師、2024.11.05
- ・ 大阪府教育センター附属高等学校 2024 年度第 3 回 校内研修「対話型論証モデルを日々の授業へ」、講師、2024.12.18
- ・ 岩手県立盛岡北高等学校「対話型論証ですすめる探究一Date から Warrant, そして Claim一」、講師、2024.01.23

- ・日本高等教育学会 2023-24 課題研究Ⅱ 第 4 回公開セミナーシリーズ「韓国の大学における研究費のファンディング」、講師、2024.04.29
- ・第 13 回教育情報システム研究会「質の文化の醸成に向けて－教学 IR、学修成果の可視化、教育の内部質保証システム」、講師、2024.11.14
- ・令和 6 年度(2024 年度)第 30 回全国進学指導研究大会「社会が求める能力と大学教育の変化」、記念講演、2024.09.19、北海商科大学
- ・株式会社キャリアタス「就職・キャリア支援担当者セミナー」、パネリスト、2024.11.08、オンライン

## (2)学外委員など

- ・北海道地方労働審議会会長
- ・北海道地方最低賃金審議会会長
- ・札幌保護司選考会委員
- ・「北海道職員人材育成・確保基本方針」（仮称）策定懇談会委員
- ・全国大学入学選抜研究連絡協議会企画委員会委員
- ・国立大学アドミッションセンター連絡会議幹事
- ・日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（2021 年 11 月 1 日～2022 年 10 月 30 日（2024 年度公表））
- ・文部科学省科学技術学術政策研究所科学技術予測・政策基盤調査研究センター専門調査委員
- ・青山学院大学教育人間科学研究所研究プロジェクト、2024 年度、「多元共生を誰にも保障する教育内容には、どのような学問知が必要となるのか－イギリスにおける取り組みを通して意見交換・熟議することで知を産み出していく」、研究協力者
- ・一般社団法人大学 IR コンソーシアム理事
- ・岩手医科大学大学病院臨床研究審査委員会委員
- ・札幌南高等学校 学校評議員
- ・市立札幌開成中等教育学校 学校評議員
- ・公的試験の部会委員（機密事項につき、詳細割愛）
- ・JMOOC マイクロクレデンシャルワーキンググループ メンバー
- ・JMOOC 国際連携ワーキンググループ メンバー
- ・ベネッセ総合教育研究所「子どもの生活と学び」研究プロジェクト 若者の生活と学び研究プロジェクトメンバー

## (3)学協会等への活動支援

- ・人材育成学会常任理事

- ・日本インターンシップ学会理事
- ・日本労務学会理事・北海道部会長
- ・日本計画行政学会理事・北海道支部長
- ・北海道都市地域学会理事
- ・日本キャリアデザイン学会キャリア研究・政策・国際交流委員会委員
- ・IDE 大学協会北海道支部理事
- ・大学教育学会広報委員会委員
- ・大学教育学会代議員
- ・日本比較教育学会紀要編集委員会編集委員
- ・日本比較教育学会北海道・東北地区幹事
- ・日本比較教育学会創設 60 周年記念事業実行委員会委員・同 60 周年記念誌編集長
- ・日本教育工学会大会企画委員会（春季大会）委員
- ・教育システム情報学会全国大会委員会プログラム部会委員
- ・教育システム情報学会学会誌編集委員
- ・日本計量学会広報委員会委員
- ・大学教育学会国際委員会委員
- ・日本高等教育学会国際委員会委員

#### (4)報道・広報

- ・ 亀野淳、株式会社ビズリーチとの共同研究成果をプレスリリース  
[https://www.hokudai.ac.jp/news/pdf/240614\\_pr2.pdf](https://www.hokudai.ac.jp/news/pdf/240614_pr2.pdf)
- ・ 亀野淳、大学ジャーナルに取材内容が掲載  
<https://univ-journal.jp/column/2024248612/>
- ・ 亀野淳、『RMS Message vol.76 (2024 年 11 月)』（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ発行）に取材内容が掲載 [https://www.recruit-  
ms.co.jp/assets/images/cms/rms\\_message/upload/3f67c0f783214d71a030780  
23e73bb1b/b63b27aeef4c4732a6902f465c24ecd4/m76\\_all.pdf](https://www.recruit-ms.co.jp/assets/images/cms/rms_message/upload/3f67c0f783214d71a03078023e73bb1b/b63b27aeef4c4732a6902f465c24ecd4/m76_all.pdf)
- ・ 鄭漢模「これからの大学再編について考える ー韓国的事例に基づいて」大学ジャーナル  
<https://univ-journal.jp/column/2024243993/>

#### (5)その他

- ・ 高等教育研究部教員、キム・デジュン教授（韓国ソウル大学）「日韓高等教育・生涯教育分野における学術交流の可能性」に関する情報交換会（2024.06.21）

以上